

福島県交通安全協会活動トピックス

令和5年4月5日

交通安全ふくしま5つ星作戦

令和4年中の県内の交通事故の発生状況は、発生件数、死者数及び傷者数とも前年と比較して減少しました。

しかしながら、交通死亡事故を分析すると

- 交通事故死者のうち、高齢者が6割超
- 交通死亡事故のうち、約5割が夜間に発生
- 交通死亡事故のうち、約3割が交差点で発生
- 人对車両の死亡事故のうち、約6割が道路横断中に発生
- 四輪車乗車中の死者のうち、事故当時シートベルト非着用が多い

ことが認められました。

また、平成28年から令和2年までの5年間における重大交通事故の分析結果らかも同様の傾向が見られました。

県警では、重大交通事故を防止するため重点事項として

- ① 高齢者の交通事故防止
- ② 薄暮時と夜間の交通事故防止
- ③ 交差点におれる交通事故防止
- ④ 横断歩行者の保護
- ⑤ シートベルト・チャイルドシート着用の徹底

の5項目を設定し、昨年引き続き「交通安全ふくしま5つ星作戦」をキャッチフレーズに交通安全運動を展開することとしました。

また、キャラクターにそれぞれの名前やコンセプト、「フクレンジャー」というチーム名を付けるなど、親しみやすいものとししました。

交通安全協会では、県警と協力し広報用ポスターを作成、交通事故防止のための広報啓発を実施します。

県警本部の板垣靖志交通部長(左)と佐藤正人専務理事(右)は、4月5日、県警本部庁舎で記者会見して発表しました。

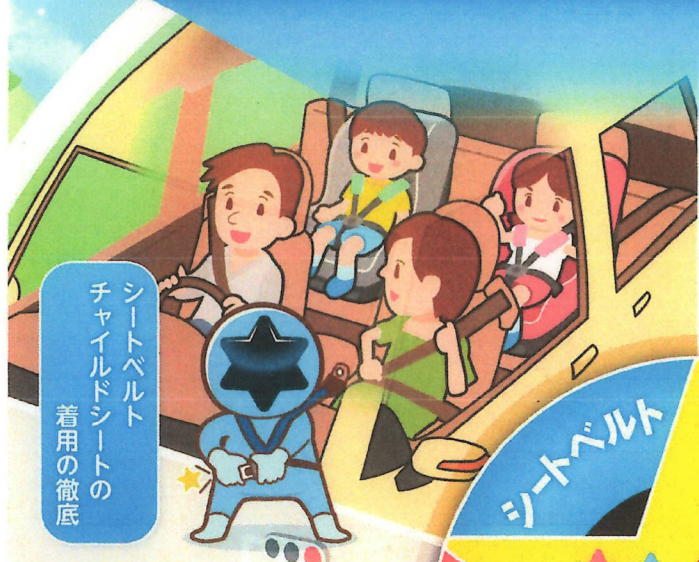


交通安全ふくしま 5つ星作戦

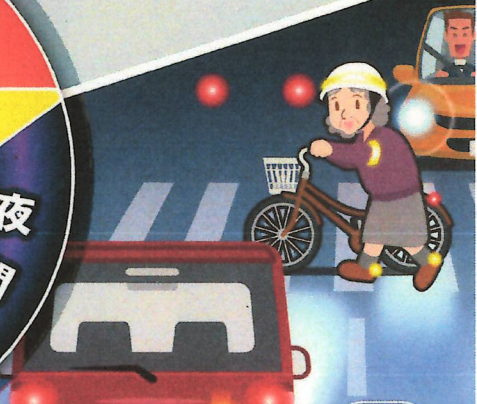
高齢者の交通事故防止



シートベルト
チャイルドシートの
着用の徹底



薄暮時と夜間の
交通事故防止



交差点における
交通事故防止



横断歩行者の保護

